令和２年度「授業改善推進プラン」（全体計画）

板橋区立板橋第三中学校

■生徒の学力の状況

〇意欲的に学習に取り組む生徒が多いが、問題を正しく読み取り、問題解決に向けて論理的に考えたり、自分の意見や考えを書いたり伝えたりする活動が苦手な生徒が多い。そのため「読み解く力」「正しく書く力」「わかりやすく話す力」について全教科でその育成のための取り組みを実施している。

■授業革新推進に向けた、指導上の課題

〇生徒が主体的に読んだり書いたりする時間を十分に確保すること。
〇生徒一人ひとりの考えを友達同士で交流する場面で対話を通して互いを高め合い、深い学びにつなげる指導をさらに工夫する必要がある。
〇本時のめあてが達成できたかを生徒自身が振り返る時間を十分にとり、充実させる必要がある。

■学校経営方針より（学力向上に関わる内容から）

〇生徒が知識・技能を習得し、習得した知識を活用して考える力、表現し伝える力を育むために、問題解決型・探究型の学習活動を重視し、生徒が主体的に学習に取り組めるよう授業改善を進める。
〇生徒一人一人が自分の考えを友達に伝えたり友達の意見を取り入れたり、相互に意見交流をしながらよりよい考えを能動的に作り出す協働学習を推進する。
〇「板橋区授業スタンダード」に基づく授業を実践し、生徒の基礎的・基本的な学力の定着と思考力・判断力・表現力等の育成を図る。
〇授業の中で、「ミーニングタイム」（語句について考える時間）や「共書き」を行い、語彙を増やし、聞きながら書く力の育成を図る。
〇本校の研究テーマである「『読み解く力の育成』～正しく書く力、わかりやすく話す力の向上と共に」を達成するために、各教室に2人に1冊ずつ国語辞典、班に１冊ずつ漢和辞典を配置し、それを活用しながら週に2回のRSタイムでの取り組みを充実させ、家庭と連携しながら「読み解く力」「正しく書く力」「わかりやすく話す力」の育成を行う。

■授業革新推進に向けての具体的な方策

視点１ 問題解決型・探究型の授業	視点２ 協働学習の導入	視点３ 指導と評価と支援の一体化
〇学習のねらいを明示し、課題をスモールステップにすることで生徒が課題を解決し、達成感を味わうことができるようにする。 〇各授業の中でミーニングタイムを設け、語句の意味や使い方等の学習を通して語彙力の育成を図る。 〇授業の中で「共書き」を行い、聞きながら書く力の育成を図る。	〇一人一人が自分で考える時間を設け、それをグループ活動の中で発表したり 他の人の考えを聞いたりする場面を設定し、それぞれの考えが深められるようにする。	〇本時の具体的なめあてを提示し、生徒がめあてに対して振り返りを行う時間を毎時間設定する。

■いたばし学び支援プラン２０２１の実現に向けた取組

授業におけるマナー・ルールの徹底	学習環境の充実	教員の指導力向上
〇「板橋区授業スタンダード」に基づいた授業を全学級で行う。 〇学習指導要領に定められた時数以上の教科時数の上積みを実施。 〇「深い学び」へつながる教育活動（グループ学習、プレゼンテーション等）を導入する。 ☆全教員・全教科で統一した授業規律の確立と徹底を図る。	〇各教室に2人に1冊ずつ国語辞典、班に１冊ずつ漢和辞典を設置し、RSタイムだけでなく日頃から辞書に親しむことができる環境作りをする。 〇各教室のICT機器を授業で有効活用できるようにする。 〇放課後の学習教室を実施し、わからないことが解決できる場を作る。	〇生徒が、 ①「学びに向かう力」、 ②「学び続けさせる力」、 ③「習得した力をテスト等に反映できる力」を全教員で育てる。 〇ＩＣＴ機器をより効果的に活用できる方法や場面を研究し、教育効果（効率）を高める。